

春のツキノワグマによる人身被害を防ぐために

気温が上がり暖かくなるとクマの活動が活発となります。

クマが冬眠（冬ごもり）から目覚め、食べ物を探して山中を動き回り始める時期をむかえます。

森林はクマの生息地で、どこにいてもおかしくありませんので、山菜取りや散策などで森に入る時には、注意が必要です。

クマとの遭遇を避けるために

◇ 朝夕の行動は避ける

朝夕はクマが活発に活動します。この時間帯に森林に入ることや山際を通行することは避けましょう。（注意…クマは昼間も行動します）

◇ 周囲の確認をする

- ・クマは聴覚や嗅覚が人より優れており、人の気配を感じて人を避けることがあります。複数人で行動し、笛、ラジオ、クマ鈴など大きな音の出る物を携行しましょう。
- ・春のクマは草や木の芽を好んで食べるため、山菜採りで遭遇する可能性があります。山菜採りの際は、周りの気配に十分注意しましょう。
- ・特に溪流沿いは水の音で、クマも人もお互いの気配に気づきにくいので注意しましょう。

◇ クマのいる場所に近づかない

クマの足跡や糞などを見つけたら、それ以上近づかずに引き返しましょう。

◇ 子グマを見たら立ち去る

子グマの近くには必ず母グマがいます。母グマは子グマを守るために、神経質になっており、人がクマと近い距離にあると攻撃することがあります。

子グマを見かけたら、そのままそっと立ち去りましょう。また、母クマの姿は見えなくても、子グマのそばには必ずいると思ってください。

◇ 飲食物は必ず持ち帰る

クマに人の食べ物の味を覚えさせないために、必ず自宅に持ち帰りましょう。

◇ 犬は連れて行かない

人の気配を感じたクマは、身を隠して人をやり過ごそうとしますが、一緒にいる犬に吠えられるなどして、人を攻撃する場合があります。犬を連れて森林へ入るのはやめましょう。

◇ 住宅・施設等の周りの屋外にクマを寄せ付けるものを長時間放置しない

以下の物は、建物にクマを引寄せる原因になります。カギのかかる頑丈な建物内での保管や処分など、適切な管理をしましょう。

- | | |
|----------------|----------|
| ・生ゴミ（ゴミ箱） | ・飲み残しの飲料 |
| ・ペットフード | ・漬物 |
| ・雑排水（グリーストラップ） | ・油性塗料、燃料 |